

旭川冬まつりで南さつまをPR!



市長によるトップセールス

受賞しました。

また、今回は旭川市内の旅行業関係者を招いて観光セミナーを開催。市長自ら、本市の美しい自然景観や地元の農水産品・特産品をPRしました。集まった多くの参加者からいくつもの質問がなされ、関心の高さが伺われました。

また、今年も市観光協会の宇都会長をはじめとする八人の方が親善訪問団として参加。白銀の北海道を楽しむとともに旭川市民の方々と交流を深め、吹上浜砂の祭典での再会を誓いました。

吹上浜砂の祭典と日本砂像連盟の三人が、二月六日から十一日まで北海道旭川市で開催された冬まつりで、雪像制作を行い、吹上浜砂の祭典のPRをしました。今回の雪像は、五月に開催される砂の祭典のテーマ「世界遺産・文明を巡る旅」にそって、カンボジアのアンコール遺跡にあるバイヨンの四面像を制作。慣れない雪に戸惑いながらも、旭川鹿兒島県人会や旭川市役所の方々のご協力をいただいでようやく完成。「銀賞」を



制作隊と親善訪問団の皆さん

キンカンもぎ取り&そば打ち体験バスツアー

〜まるかじりのキンカンと手打ちのそばに舌鼓〜

二月二十日に、「キンカンもぎ取り&そば打ち体験バスツアー」が実施され、鹿兒島市在住者を中心に二十七人の参加がありました。南さつま市民センターで、津貫加工グループの方にキンカンジャムの作り方を習った後、長屋そば部会の方にそば打ちの説明をしていただきました。

初めてそばを打つ方も多く、説明では簡単そうに見えた作業も、見ているのとやってみるとは大違いでみなさん一生懸命そばを打っていました。そばもそろそろ出上がるころになると、キンカン



キンカンもぎ取り体験

ジャムが煮詰まり始め、調理室中にキンカンの爽やかな香りの中での実習となりました。

その後自分たちで打ったそばと、JA女性部の方が準備してくれた昼食を食べ、津貫のハウスキンカン園でもぎ取り体験を行いました。

参加者は大きなキンカンをもぎ取り、その場でおいしそうにまるかじりしていました。帰りは、いななまるに寄ってたくさんの南さつまの特産品をお土産に、「また南さつまに遊びにきたい」と大満足の様子でした。



そば打ち体験